

アルトリア グループ (MO)

【セクター】 タバコ

信買

【市場】 NYSE

【企業概要】

米国最大のたばこメーカー。「マールボロ」が主力ブランドで、2022年の米国紙巻きたばこ市場では42.5%のトップシェアを誇ります。フィリップ モリス インターナショナルは2008年に分離した兄弟会社で、フィリップ モリスが米国外、アルトリアが米国市場をそれぞれターゲットとする役割分担となっています。売上高構成比（物品税を除く売上高）は、有煙たばこが87.2%、無煙たばこが12.5%、その他が0.3%となっています（2023年12月期）。

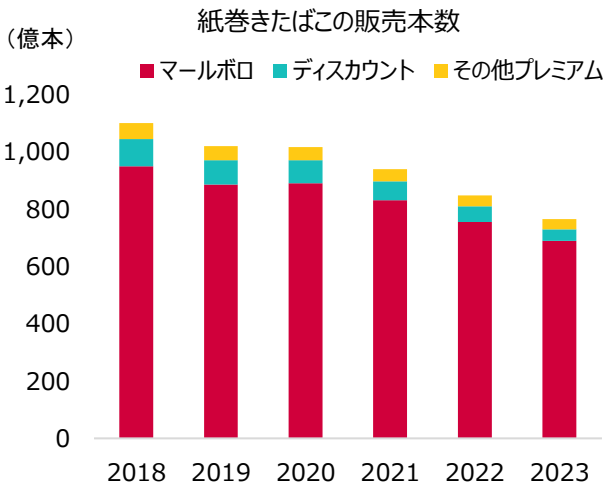
【業績】（単位：売上高、純利益は百万ドル、EPS、1株配当、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%、純利益、EPSは調整後ベース）

決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
22.12期	20,688	8,757	4.85	3.68	-2.2	-	-10.6
23.12期	20,502	8,822	4.96	3.80	-2.0	-	-9.0
24.12期（予）	20,622	8,741	5.00	3.99	-1.6	-	-

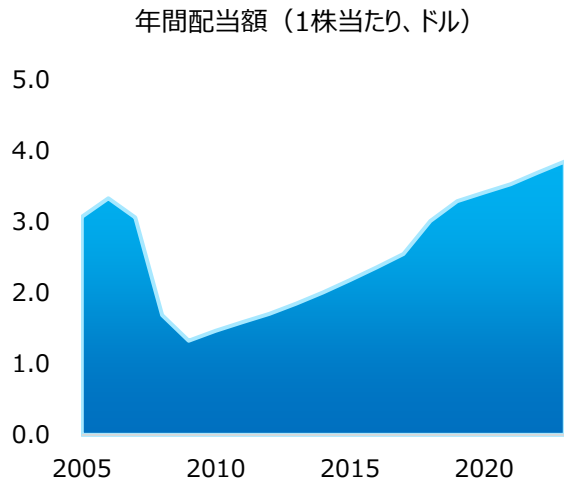
※EPS：1株当たり利益、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率

（出所）BloombergのデータよりSBI証券作成

【主要指標】



（出所）会社資料よりSBI証券作成



（出所）BloombergのデータよりSBI証券作成

【会社の見方】

世界的な健康志向の高まりなどからたばこの販売本数が年々減少するなか、価格の引き上げなどにより売上高を維持するとともに、生産性の向上やコスト削減によって利益の増加を目指しています。一方、有煙たばこへの依存を下げるために、ビールのアンハイザー・ブッシュ・インベブ、大麻関連のクロノス・グループへの株式投資を行うほか、ニコチン・パッチの「on!」の提供会社を買収しています。兄弟会社フィリップモリスインターナショナルが提供する加熱式タバコの「IQOS」は、米国での提供の目途が立っていません。一方、2023年6月に電子たばこメーカーNJOY社を買収して、同社の事業展開の加速を目指します。2028年までの中期経営目標として、調整後EPSと配当について年率1桁台半ばの拡大をにかけています。

【見通し・注目点】

10-12月期決算は売上が前年同期比1%減、調整後EPSは同横ばいでした。紙巻きたばこの販売数量は市場縮小（物価高と電子ペーパーへのシフトの影響を含む）とシェア喪失の影響を流通在庫の変動が一部相殺して同7%減でした。主力の有煙部門は販売数量減を値上げ効果で一部相殺して前年同期比2%減収とし、営業利益は同横ばいを維持しました。2024年12月期の調整後EPSガイダンスは、前年比1~4%増の5.00~5.15ドルです。

本レポートに関するご注意事項

- ・本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。
- ・本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。

手数料及びリスク情報等

- ・SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっく株365)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。